

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491061	事務事業名	福祉タクシー助成事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者	意図(どういう状態にしたい): 経済的負担の軽減と、あわせて社会参加の機会を増やす。 (利用枚数 H26見込み:57,100枚)	事業の内容 (手段)	●タクシー基本料金の助成 ・対象者 ア 身体障害者手帳…1級～3級 イ 療育手帳…A ウ 精神障害者保健福祉手帳…1級		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	年間利用枚数:52,302枚								直接事業費	千円	36,535	36,581	35,963	-
事業目標	目標名	利用枚数	計算式	年間利用枚数	単位	枚	(予算額)	うち一財	千円	36,535	36,581	35,963	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	33,716	32,690		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	59,000.0	59,400.0	57,100.0	57,100.0	57,100.0	(決算額)	うち一財	千円	33,716	32,690		移動支援事業費他4事業と統合	
	実績値	56,717.0	55,017.0	52,302.0				正職員人件費	千円	2,124	1,701			
	達成度(%)	96.1%	92.6%	91.6%				人工数	人	0.29	0.23	0.31		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	福祉タクシー助成事業費 (ソフト事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.23	0.60	32,690	可	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 現在、基本料金の助成を行っているが、複数の料金が存在しているため、一部タクシー業者から、単価定額制の導入の要望がある。 また、透析患者への追加給付についても検討が必要。					B	改善案	他市の状況等を参考としながら、助成内容の改正について、検討して行く。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成16年度から順次対象者を拡大。今後、助成方法変更の可能性有。	前年度までの指摘事項	他市の状況を確認し改正を視野に入れ、障害者の社会参加促進のため必要な助成であり継続して実施。	指摘事項に対する改善状況	他市の状況を確認した。
	細事業の課題・問題点	一部タクシー業者から、タクシー券の単価定額化への改正を提案されている(複数の基本料金が存在することによる不便を防ぐため)。 ※県内8市において単価定額制を導入している。	事業全体の課題・問題点	細事業に同じ。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	他市の状況を確認し改正を視野に入れ検討する。障害者の社会参加促進のため必要な助成であり継続して実施。	改善案	他市の状況等の現状を分析する。
----	---	---	------	--	-----	-----------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり現状をしっかりと分析し、制度改正の必要性・根拠の整理が必要。また、不公平感の無いように図りたい。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
6事業(移動支援事業費、身体障害者訪問入浴サービス事業費、障害者コミュニティ活動支援事業費、福祉タクシー助成事業費、身体障害者運転免許取得助成事業費及び身体障害者用自動車改造助成事業費)を統合し、事務事業名を「居宅生活支援事業費」とした。

備考

備考
----

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491067	事務事業名	心身障害児母子通園訓練事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の心身障害児(4歳未満)及びその保護者		意図(どういう状態にしたい): 障害の除去又は軽減が図られる。 (利用件数 H26見込み:576件)		事業の内容 (手段)	●心身に障害のある児童(4歳未満)をその保護者とともに心身障害児通園施設(鼓ヶ浦整肢学園「つばさ園」)において行う作業療法士や理学療法士等による日常生活訓練、機能訓練、その他療育訓練

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		利用延件数 295件					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
【26年度】								直接事業費	千円	1,792	1,792	1,613	-	-
事業目標	目標名	利用件数	計算式	延利用件数	単位	件	事業費	(予算額) うち一財	千円	896	896	807	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	1,540	826		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	480.0	480.0	576.0	576.0	576.0		(決算額) うち一財	千円	770	413		療育専門職員招へい事業費他1事業と統合	
	実績値	451.0	495.0	295.0				正職員人件費	千円	879	1,331			
	達成度(%)	94.0%	103.1%	51.2%				人工数	人	0.12	0.18	0.27		
							支出コスト	千円	決) 2,419	決見) 2,157				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		心身障害児母子通園訓練事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
								0.18	0.05	826	可	可		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 鼓ヶ浦整肢学園の持つ療育に関する専門的機能がにより、事業が担保されている。幼稚園就園や児童発達支援事業通所前の準備事業としての利用も多く、次の機関へつなげる支援が必要であり、障害児相談支援事業所等関係機関の理解、連携が求められる。				A	改善案						
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成4年から継続する県の事業。運営費の補助額、方法を見直しながら、現在の形に至っている。	前年度までの指摘事項	継続が必要な事業。	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	鼓ヶ浦整肢学園の持つ療育に関する専門的機能がにより、事業が担保されている。幼稚園就園や児童発達支援事業通所前の準備事業としての利用も多く、次の機関へつなげる支援が必要であり、障害児相談支援事業所等関係機関の理解、連携が求められる。	事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	障害児の早期療育の推進のために継続が必要な事業	改善案
----	---	---	------	-------------------------	-----

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	所管課評価のとおり
----	---	-----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
3事業(療育訓練参加促進事業費、療育専門職員招へい事業費及び心身障害児母子通園訓練事業費)を統合し、事務事業名を「療育訓練等事業費」とした。

備考

備考
----

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者(課長)	山本恭弘	評価責任者(部長)	大西輝政
事務事業コード	491073	事務事業名	心身障害児福祉施設整備費等助成事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 民間法人	意図(どういう状態にしたい): 心身障害児福祉施設の運営の安定に寄与する。 (助成法人数 H26目標:1法人)	事業の内容(手段)	●民間の法人が整備した施設の整備費を補助(債務負担)債務負担)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	民間法人が整備した3つの施設の建設費に係る償還金を補助した。 2施設は平成25年度で終了(つばさ園・こぼと園) 残りの1施設は、平成13年度から平成32年度まで。(債務負担) ・重度心身障害児施設「ひばり園」						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	19,369	11,084	10,929	-		-						
事業目標	目標名	助成施設数	計算式	助成施設数	単位	施設	(予算額) うち一財	千円	19,369	11,084	10,929	-	-	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	19,369	11,083		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0	(決算額) うち一財	千円	19,369	11,083		身体障害者福祉施設整備費等助成事業費他1事業と統合		
	実績値	3.0	3.0	1.0			正職員人件費	千円	147	74				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.02	0.01	0.01			
							支出コスト	千円	決) 19,516	決見) 11,157				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	心身障害児福祉施設整備費補助金 (施設等整備事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.01		11,084	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 総額数億円、複数年にわたる助成であり、新たな助成は財政の硬直化の一因となる。					A	改善案						
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③												
			正職員	臨時等	直接事業費	委託							
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成20年度末に、高齢者施設、児童施設までを含めた施設整備に係る助成を要綱として定めた。	前年度までの指摘事項	現状は、債務負担によるものである。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	細事業の課題で述べたとおり。		事業全体の課題・問題点	細事業の課題で述べたとおり。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	現状は、債務負担によるものである。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	A	所管課評価のとおり。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
3事業(身体障害者福祉施設整備費等助成事業費、心身障害児福祉施設整備費等助成事業費及び知的障害者福祉施設整備費等助成事業費)を統合し、事務事業名を「障害児・者福祉施設整備費助成事業費」とし、

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491080	事務事業名	重度心身障害児福祉手当支給事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の20歳未満の在宅の障害児の保護者		意図(どういう状態にしたい): 経済的負担の軽減と福祉の増進が図られる。 (受給者数 H26見込み:245人)		事業の内容 (手段)	●精神又は身体に重度の障害を有する20歳未満の者・児を監護している保護者に福祉手当を支給(支給月:3・9月)(単市事業)

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	支給件数496件		支給額 10,348,400円		支給人数 248人									
事業目標	目標名	受給者数	計算式	年度末受給者数	単位	人	事業費	直接事業費	千円	10,798	10,798	10,212	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(予算額) うち一財	千円	10,798	10,798	10,212	-	-
	目標値	244.0	245.0	245.0	245.0	245.0		直接事業費	千円	10,255	10,348		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	231.0	242.0	248.0				(決算額) うち一財	千円	10,255	10,348		特別障害者手当支給事業費他3事業を統合	
	達成度(%)	94.7%	98.8%	101.2%				正職員人件費	千円	733	740	0.10		
							人工数	人	0.10	0.10	0.10			
							支出コスト	千円	決) 10,988	決見) 11,088				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	重度心身障害児福祉手当支給事業費(ソフト事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	直接事業費	委託	臨時嘱託				
							0.10	10,348	否	否				
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 身体障害者手帳の1級から3級、知的障害者でIQが50以下及び精神障害者保健福祉手帳1級の所持児童の保護者に支給しており、今後は発達障害の増加が予想される。					B	改善案	単市事業であり、他市の同様の事業の様子を見ながら対応を検討する。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	精神又は身体に著しい障害を有する児童の福祉の増進を図ることを目的としており、発達障害の対象者が増加することが予想される。	前年度までの指摘事項	重度心身障害児の福祉増進のため有効であるが、本制度には所得制限が設けられておらず、支給要件や金額等については、他市の状況も確認しながらサービス水準を検証し、見直しを検討していく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	県内の市では、ほとんどが所得制限を設けていない。
	細事業の課題・問題点	細事業の課題対応で述べたとおり。		事業全体の課題・問題点	細事業の課題対応で述べたとおり。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	精神又は身体に著しい障害を有する児童の福祉の増進を図る事業として有効であるが、他市の状況も確認しながらサービス水準の検証が必要	改善案	単市事業であり、他の単市事業や他市の同様の事業の状況を見ながら対応を検討する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
5事業(特別障害者手当支給事業費、福祉手当支給事業費、重度心身障害児福祉手当支給事業費、障害児福祉手当支給事業費及び在日外国人重度障害者福祉給付金支給事業費)を統合し、事務事業名を「特別障害者手当等支給事業費」とした。

備考



平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491081	事務事業名	障害児福祉手当支給事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の在宅の障害児	意図(どういう状態にしたい): 経済的負担の軽減と福祉の増進が図られる。 (受給者数 H26見込み:80人)	事業の内容 (手段)		●精神又は身体に重度の障害を有する20歳未満の者・児に福祉手当を支給(支給月:5・8・11・2月)	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	支給件数309件 支給額 12,844,920円 年度末受給者数 82人					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
							直接事業費	千円	14,395	13,613	14,423	-	-
事業目標	目標名	受給者数	計算式	年度末受給者数	単位	人	(予算額) うち一財	千円	3,600	3,404	3,606	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	11,953	12,845		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	84.0	84.0	80.0	80.0	80.0	(決算額) うち一財	千円	2,989	3,211		特別障害者手当 支給事業費他3 事業を統合	
	実績値	69.0	74.0	82.0			正職員人件費	千円	733	740			
	達成度(%)	82.1%	88.1%	102.5%			人工数	人	0.10	0.10	0.10		
							支出コスト	千円	決) 12,686	決見) 13,585			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否			
	① 障害児福祉手当支給事業費 (経常的事務事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ		正職員 0.10	臨時等	直接事業費 12,845	委託 否	臨時嘱託 否	
	細事業の課題		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 認定について診断書の医学的な記載、及び対象者の病状の把握などが困難な場合がある。				細事業評価		A	改善案			
	②												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価			改善案			

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	重度の障害の状態にあるため常時特別の介護を必要とする在宅者に対し給付を行っている。支給額はH27年4月より14,140円→14,480円に額改定された。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	障害の状況・名称も個人により異なる。日常生活において常時介護を要する者が対象になり、診断書・病名それに伴う医学的知識が必要であるが、今後もいろいろな病状・ケースを判断する必要があると思われる。	事業全体の課題・問題点		障害の状況・名称も個人により異なる。日常生活において常時介護を要する者が対象になり、診断書・病名それに伴う医学的知識が必要であるが、今後もいろいろな病状・ケースを判断する必要があると思われる。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	手続等、全て法令に即して実施する事業	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
5事業(特別障害者手当支給事業費、福祉手当支給事業費、重度心身障害児福祉手当支給事業費、障害児福祉手当支給事業費及び在日外国人重度障害者福祉給付金支給事業費)を統合し、事務事業名を「特別障害者手当等支給事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491082	事務事業名	障害者災害時緊急通信事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の聴覚障害者	意図(どういう状態にしたい): 聴覚障害者が緊急時に消防本部へ緊急通報を携帯電話で行える。 (登録者数 H26目標:15人)	事業の内容 (手段)		●消防本部の要援護者用の通報装置を維持	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】	登録者数				単位	人	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
		24年度	25年度	26年度	27年度					28年度	千円	千円	千円	-
事業目標	目標名	登録者数	計算式	年度末登録者数	単位	人	事業費	直接事業費	千円	242	249	268	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(予算額) うち一財	千円	242	249	268	-	-
	目標値	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0		直接事業費	千円	239	216		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	11.0	11.0	20.0				(決算額) うち一財	千円	239	216		手話通訳者設置 事業費他6事業 と統合	
	達成度(%)	73.3%	73.3%	133.3%				正職員人件費	千円	366	74			
								人工数	人	0.05	0.01	0.01		
						支出コスト	千円	決) 605	決見) 290					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否				
	①	障害者災害時緊急通信事業費 (ソフト事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.01		217	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 携帯からの緊急通報を受信するシステムであるが、利用者(聴覚障害者)のスマートフォンへの機種変更が増加している。現在のシステムではスマートフォンからの受信はできないため、システムの改修が必要となっている。					B	改善案	消防本部のシステムについて、平成26年度スマートフォンからの受信ができるよう改修された。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	システム導入時は、従来型携帯所持者のみであったが、スマートフォンへの機種変更が進んだ結果、登録が減少している。 平成26年度、消防側のシステム改修がされたため、(工事終了はH27.3)平成27年度からは、スマートフォン使用者への加入案内も可能となるため、利用者の拡大が期待される。	前年度までの指摘事項	必要な事業であるがシステムが古い問題がある。	指摘事項に対する改善状況	消防本部のシステムについて、平成26年度改修された。
	細事業の課題・問題点	評価シートに同じ。		事業全体の課題・問題点	平成26年度、スマートフォン対応のためのシステム改修が実施された。	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	聴覚障害者の安心・安全のため必要な事業であるがシステムが古い問題がある。	改善案	消防本部のシステム改修の中で装置を最新化したい。
----	---	---	------	--------------------------------------	-----	--------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり
----	---	-----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

8事業(障害者災害時緊急通信事業費、手話通訳者設置事業費、手話通訳者・手話奉仕員派遣事業費、手話奉仕員養成事業費、点訳奉仕員・朗読奉仕員養成事業費、要約筆記奉仕員養成派遣事業費、点字広報・声の広報発行事業費及び手話奉仕員ステップアップ養成事業費)を統合し、事務事業名を「意思疎通支援事業費」とした。
---

備考

備考
----

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491084	事務事業名	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の在宅の小児慢性特定疾患児		意図(どういう状態にしたい): 日常生活上の困難を改善する。 (給付件数 H26見込み:4件)		事業の内容 (手段)	●小児慢性疾患児で、児童福祉法の施策の対象とならないもののために、日常生活用具を給付

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	年間給付件数:2件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	154	154	154	-
							(予算額) うち一財	千円	77	77	77	-	-	
事業目標	目標名	給付件数	計算式	年間給付件数	単位	件	直接事業費	千円	0	94		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	0	48		日常生活用具給付事業費と統合		
	目標値	1.0	4.0	4.0	4.0	4.0	正職員人件費	千円	73	74				
	実績値	1.0	0.0	2.0			人工数	人	0.01	0.01	0.03			
	達成度(%)	100.0%	0.0%	50.0%			支出コスト	千円	決) 73	決見) 168				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
								0.01		94	否	否		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 申請件数が少ない。				細事業評価							
	②						A   改善案							
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
						改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③												
			正職員	臨時等	直接事業費	委託							
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成17年度から開始された事業であるが、件数は少ない。ただし、身体障害者福祉法やその他のサービスを受けられない者を対象としているため、廃止することのできない事業である。	前年度までの指摘事項	継続して実施が必要	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	申請件数が少ない。		事業全体の課題・問題点	細事業に同じ。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	身体障害者福祉法やその他のサービスを受けられない者を対象としているため、継続して実施が必要	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
日常生活用具給付事業費に統合

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491087	事務事業名	在日外国人重度障害者福祉給付金支給事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 国民年金法の施行日前に20歳に達していた 重度心身障害の外国人等	意図(どういう状態にしたい): 経済的負担の軽減と福祉の増進が図られる。 (受給者数 H26見込み:3人)	事業の内容 (手段)	●国民年金法の施行日前に20歳に達していた外国人等で、障害基礎年金等を受けることができない 重度心身障害者に対し支給[新規に該当する者は、転入者のみ]		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】	項目		単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)					
		支給額 720,000円 支給人数 3人	直接事業費	千円	720	720	720	-	-					
	(予算額) うち一財	千円	720	720	720	-	-							
事業目標	目標名	給付者数	計算式	年度末給付者数	単位	人	事業費	直接事業費	千円	720	720		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	720	720		特別障害者手当 支給事業費他3 事業を統合	
	目標値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		正職員人件費	千円	73	74			
	実績値	3.0	3.0	3.0				人工数	人	0.01	0.01	0.10		
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%				支出コスト	千円	決) 793	決見) 794			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名	事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	在日外国人重度障害者福祉給付金支給事業費(ソフト事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員 0.01	臨時等	直接事業費 720	委託 否	臨時嘱託 否			
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 他市の状況も勘案し継続していきたい。					細事業評価	B	改善案	他市の状況等を勘案する。				
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価		改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	継続して実施、対象者は今後減少すると思われる。	前年度までの指摘事項	他市の状況も勘案しながら、事業を進められたい。	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	他市の状況も勘案し継続していきたい。		他市の状況も勘案し継続していきたい。	

所管課評価					
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	他市の状況を勘案しながら事業を継続	改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
5事業(特別障害者手当支給事業費、福祉手当支給事業費、重度心身障害児福祉手当支給事業費、障害児福祉手当支給事業費及び在日外国人重度障害者福祉給付金支給事業費)を統合し、事務事業名を「特別障害者手当等支給事業費」とした。

備考





事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	重度障害者の緊急対応、相談対応として継続実施	前年度までの指摘事項	高齢者と同一の要綱で行っているため、障害特性による利用の可否の判断が困難。実費利用との区別を整理しつつ、検討が必要。	指摘事項に対する改善状況	現に利用している者の状況等を考慮しつつ、サービスが必要な者を限定。
	細事業の課題・問題点	現状では「何かあったときのため」に対応できる唯一の行政施策である。高齢者と同一の要綱で行っているため、障害特性による利用の可否の判断が困難（重度の身体障害以外は「市長が必要と認めたもの」で対応）である。実費利用との区別を整理しつつ、検討が必要と思われる。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	実費利用との区別を整理しつつ、障害特性による利用の可否の判断をする基準の検討が必要。	改善案	現に利用している者の状況等を考慮しつつ、サービスが必要な者を限定。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
3事業(重度障害者電話料金等助成事業費、緊急通報体制等整備事業費及び見守り配食事業費)を統合し、事務事業名を「障害者地域支援事業」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491089	事務事業名	見守り配食事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者	意図(どういう状態にしたい): 在宅の重度障害者の健康維持と自立した生活を送れるようにする。 (利用者数 H26見込み:19人)	事業の内容 (手段)	●在宅の重度障害者へ定期的に栄養バランスのとれた食事を提供するとともに安否を確認		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	利用者数 5人 配食数 452食								直接事業費	千円	3,170	2,161	556	-
事業目標	目標名	利用者数	計算式	年間利用者数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	3,170	2,161	556	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	872	200		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	25.0	25.0	19.0	19.0	19.0	(決算額)	うち一財	千円	872	200		緊急通報体制等整備事業費他1事業と統合	
	実績値	22.0	13.0	5.0					人工数	人	0.03	0.02	0.01	
	達成度(%)	88.0%	52.0%	26.3%			支出コスト	千円	決) 1,092	決見) 348				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 見守り配食事業費 (ソフト事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.02	0.05	200	可	可			
	細事業の課題		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 同じ要綱により事業を行っている高齢者支援課と協議しながら効果的な事業運営を図る必要がある。				A	改善案						
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	重度障害者に対するサービスとして実施。25年度から、見守り配食サービスとして取扱いを変更	前年度までの指摘事項	同じ要綱により事業を行っている高齢者支援課と協議しながら効果的な事業運営を図る必要がある。	指摘事項に対する改善状況	高齢者支援課と協議する。
	細事業の課題・問題点	同じ要綱により事業を行っている高齢者支援課と協議しながら効果的な事業運営を図る必要がある。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	高齢者安心安全推進事業検討部会での検討結果を踏まえ、平成25年度より事業を見直したばかりである。当面は現行制度で事業を継続する。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
3事業(重度障害者電話料金等助成事業費、緊急通報体制等整備事業費及び見守り配食事業費)を統合し、事務事業名を「障害者地域支援事業」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491103	事務事業名	障害一般事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者及び福祉関係者	意図(どういう状態にしたい): 障害に係る事務を円滑に実施する	事業の内容 (手段)	●障害に係る事務を円滑に実施するための当該事務経費		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	下記各シート記載のとおり。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	4,197	3,395	3,605	3,602
							(予算額) うち一財	千円	3,909	3,056	3,319	3,327	3,319	
事業目標	目標名	-	計算式	-	単位	-	直接事業費	千円	2,001	2,910		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	1,715	2,176				
	目標値						正職員人件費	千円	2,198	3,550				
	実績値						人工数	人	0.30	0.48	0.85			
	達成度(%)						支出コスト	千円	決) 4,199	決見) 6,460				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 身体障害者団体連合会市長懇談会 (ソフト事業)		身体障害者団体と市長との懇談会の開催	障害者施策の円滑な推進	身体障害者団体連合会(構成7団体)と市長との懇談会を年1回行う。	H26年度は開催せず。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他 身体障害者団体連合会より、予算編成の前(夏季)に時期を変えてほしいとの要望があり、H26年度は開催せず。			B	改善案	夏季に開催の方向。						
	② 庁内情報バリアフリー (ソフト事業)		点字シール及びSPコード文書希望リストの作成及び庁内各課への配布	視覚障害者に対する情報バリアフリー	視覚障害者に対する郵送物等への点字シールの貼付及び通知文書のSPコード化	課税課・保険年金課・高齢者支援課・健康増進課に対し、情報提供をい、各課が該当者に対する通知等に点字シールを貼付して郵送した。	0.05					否	否	
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト ■ その他 点字シールのほか、SPコード文書の普及を目指しているが、読上げ確認装置が1台のみであること、SP文書作成ソフトが全ての課に導入されていないことなど、スムーズな事務作業に支障がある。			B	改善案	H26年5月、読上げ確認装置の寄贈を受けた。庁内でSPコード文書の普及を進める。							

	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	正職員	臨時等					直接事業費	委託	臨時			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③	山口県精神保健協会負担金 (経常的事務事業)	山口県精神保健協会への負担金支払い	精神保健協会事業への協力	市民の精神保健福祉の向上	こころの健康セミナー開催ほか研修会・フォーラム・広報活動等の事業が行われた。	0.01				否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし。				細事業評価						
	A	改善案										
	④	周南3市課長会議 (ソフト事業)	周南3市の障害担当課長及び担当会議	周南広域で共通する各事業についての協議を行う。	各事業負担金の調整、サービスの均衡を図る。	平成25年度5回開催	0.07				否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし。				細事業評価						
A	改善案											
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	⑤	障害者福祉計画・障害者計画策定 (経常的事務事業)					障害者施策、障害福祉サービス等についての計画の策定	障害者施策等の方向性を示す。	障害者計画、障害福祉計画の策定	障害者計画、障害福祉計画をそれぞれ策定した。	0.04	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 単年度事業。				細事業評価						
	D	改善案										
	⑥	改正災害対策基本法対応(名簿作成・運用検討) (経常的事務事業)	災害時の避難に支援が必要な障害者	災害時の避難を円滑に支援する。	避難行動要支援者名簿の作成	避難行動要支援者名簿を作成した。	0.03				否	否
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 自主防災組織等の協力を得て、名簿の活用、個別の支援計画の作成を進めていく必要がある。				細事業評価							
B	改善案		防災危機管理課との協議。									
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	⑦	その他、予算を伴うが各実施事業に属さない事業 (経常的事務事業)					課内庶務全般	臨時職員の雇用・各種事業に必要な消耗品・切手等の購入・「障害者福祉のしおり」の編集・発行等	各種事業が円滑に進むよう支援する。	障害一般事務の執行。	0.25	1.10
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 コスト意識を持った執行が必要。				細事業評価						
B	改善案		予算に執行に留意する。									

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	特になし。	前年度までの指摘事項	手帳の交付は、障害者福祉の基本となる事務であり、今後も件数の増加が見込まれる。常にコスト意識を持った執行が必要な事業。	指摘事項に対する改善状況	執行に留意した。
	細事業の課題・問題点	各細事業評価シートのとおり		事業全体の課題・問題点	特になし。	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	庶務的な一般事務費は必要な事業であり経費であるが常にコスト意識を持った執行が必要な事業。他の事業に分散して計上は困難で、また、特定の事業を新たに立てる必要もないと考える。	改善案	予算に執行に留意する。 文書の音声コード化への取組みを進める。
----	---	---	------	---	-----	------------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり
----	---	-----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード*	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491113	事務事業名	知的障害者福祉施設整備費等助成事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 民間法人	意図(どういう状態にしたい): 知的障害者福祉施設の運営の安定に寄与する。 (助成法人数 H26目標:1法人)	事業の内容 (手段)	●民間の法人が整備した施設の整備費を補助(債務負担)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	民間法人が整備した1つの施設の建設費に係る償還金を補助した。 助成は、平成19年度から平成38年度まで。(債務負担)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	1,315	1,296	1,277	-		-						
事業目標	目標名	助成施設数	計算式	助成施設数	単位	施設	(予算額) うち一財	千円	1,315	1,296	1,277	-	-	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,315	1,296		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	(決算額) うち一財	千円	1,315	1,296		身体障害者福祉施設整備費等助成事業費他1事業と統合		
	実績値	1.0	1.0	1.0			正職員人件費	千円	73	74				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.01	0.01	0.01			
							支出コスト	千円	決) 1,388	決見) 1,370				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		障害者支援施設「鹿野学園」第二成人部改築費補助金 (施設等整備事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
								0.01		1,296	否	可		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 総額数千万円、複数年にわたる助成であり、新たな助成は財政の硬直化の一因となる。				A	改善案						
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案							



事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成20年度末に、高齢者施設、児童施設までを含めた施設整備に係る助成を要綱として定めた。	前年度までの指摘事項	現状は、債務負担によるものである。	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	細事業の課題で述べたとおり。		事業全体の課題・問題点	細事業の課題で述べたとおり。

所管課評価					
評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	現状は、債務負担によるものである。	改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 所管課評価のとおり。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
3事業(身体障害者福祉施設整備費等助成事業費、心身障害児福祉施設整備費等助成事業費及び知的障害者福祉施設整備費等助成事業費)を統合し、事務事業名を「障害児・者福祉施設整備費助成事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	492032	事務事業名	障害者団体育成事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内に居住する障害者及びその家族を主たる構成員とする団体	意図(どういう状態にしたい): 団体の組織強化と活動の活発化により、福祉の推進、自立更生の促進が図られる。 (会員数 H26目標:450人)	事業の内容 (手段)	●身体障害者団体連合会他2団体の活動を補助金で助成		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	周南市身体障害者団体連合会 278人 徳山肢体不自由児父母の会 30人 周南市手をつなぐ育成会 108人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	1,805	1,852	1,702	-
							(予算額) うち一財	千円	1,805	1,852	1,702	-	-	
事業目標	目標名	会員数	計算式	会員数	単位	人	直接事業費	千円	1,805	1,852		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	1,805	1,852		ボランティア団体育成事業費と統合		
	目標値	450.0	450.0	450.0	450.0	450.0	正職員人件費	千円	366	518				
	実績値	440.0	453.0	416.0			人工数	人	0.05	0.07	0.05			
	達成度(%)	97.8%	100.7%	92.4%			支出コスト	千円	決) 2,171	決見) 2,370				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 周南市身体障害者団体連合会活動費補助金(ソフト事業)		身体障害者団体連合会構成団体(7団体)	団体の組織強化	障害者の社会参加の促進と自立支援	補助金の交付 会員数278人(前年308人)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.03		1,312	否	否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 会員の高齢化が進み、行事参加人数等の低下がみられる。				B	改善案	団体の存在を知らない障害者もいるため、活動内容を記載した募集チラシを各団体において作成し、市の窓口等に設置していく。					
② 徳山肢体不自由児父母の会活動費補助金(ソフト事業)		徳山地区在住の肢体不自由児(者)の父母で構成される団体	団体の組織強化	障害者の社会参加の促進と自立支援	補助金の交付 会員数30人(前年度35人)	0.01		135	否	否				
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 会員の高齢化により会員数が減少傾向にあり、活動費も減少している。				B	改善案	会の動向を見ながら、補助金額を検討していく。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③	周南市手をつなぐ育成会 活動費補助金 (ソフト事業)	市内の知的障害者(児)の 父母により構成される団体	団体の組織強化	障害者の社会参加の促進と自立支 援	補助金の交付 会員数108人(前年度110人)	0.01		255	否	否	
	細事業 の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 会員数の若干の減少が見られるものの、依然として、100名以上の会員による活動を活発に行っているため、特に課題なし。					細事業評価					
	④	第41回手をつなぐ育成会 山口県大会開催費補助金 (ソフト事業)	第41回手をつなぐ育成会 山口県大会	知的障害者の保護者の研 修、意見交換、交流	山口県大会の事業費の一部を補助	補助金の交付	0.02		150	否	否	
	細事業 の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 単年度の事業					細事業評価					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの 環境変化	前年度までの 指摘事項	事業全体の 課題・問題点	指摘事項に対す る改善状況
	周南市身体障害者団体連合会においては、平成24年度より構成団体の一つ(オストミー団体)が活動休止となったため、補助金の減額を行い、また平成26年度からは、構成団体内で徳山と熊毛の合併が行われ、団体数が減となったため、さらに補助金の減額を行った。			
	会員の高齢化が進み、行事参加人数等の低下がみられる。		全体的に会員数が減少しているが、いずれも障害者の社会参加の促進に必要な団体であり、組織の強化が課題となっている。	

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	市の障害者福祉施策への協力(会員への周知・意見の集約等)をいたっており、施策の推進に必要な組織。
			改善案	団体の存在を知らない障害者もいるため、活動内容を記載した募集チラシを各団体において作成し、市の窓口等に設置していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
2事業(障害者団体育成事業費とボランティア団体育成事業費)を統合し、事務事業名を「障害者・ボランティア団体育成事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	492035	事務事業名	ボランティア団体育成事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内のボランティア活動の実績のある団体	意図(どういう状態にしたい): 団体の組織強化と活動の活発化により、福祉の推進、障害者支援の促進が図られる。 (会員数 H26目標:140人)	事業の内容 (手段)	●ボランティア団体4団体の活動を補助金で助成		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】	手話サークル周南 52人 ひだまりの会 21人 NPO法人周南視覚障害者図書館 59人						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
		直接事業費	千円	658	588	588	-							
事業目標	目標名	会員数	計算式	会員数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	658	588	588	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額)	うち一財	千円	658	588		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	141.0	141.0	140.0	140.0	140.0								
	実績値	136.0	128.0	132.0										
	達成度(%)	96.5%	90.8%	94.3%										
								正職員人件費	千円	366	222			
							人工数	人	0.05	0.03	0.08			
							支出コスト	千円	決) 1,024	決見) 810				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	手話サークル周南活動費補助金 (ソフト事業)	手話ボランティア団体	団体の組織強化	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくりに資するため	補助金の交付 会員数 52人(前年50人)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.01		92	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 補助の目的が達成できるよう団体の運営状況をみていく必要がある。					B	改善案	実績報告、決算の状況等により、団体の適切な運営について助言していく。					
	②	ひだまりの会活動費補助金 (ソフト事業)	精神障害者支援ボランティア団体	団体の組織強化	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくりに資するため	補助金の交付 会員数 21人(前年19人)	0.01		36	否	否			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 補助の目的が達成できるよう団体の運営状況をみていく必要がある。					B	改善案	実績報告、決算の状況等により、団体の適切な運営について助言していく。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	NPO法人周南視覚障害者図書活動費補助金 (ソフト事業)	視覚障害者支援団体	団体の組織強化	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくりに資するため	補助金の交付 会員数59人(前年59人)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
							0.01		460	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 若干会員数の減少のみられるものの、視覚障害者支援活動は活発に行われている。 補助の目的が達成できるよう団体の運営状況をみていく必要がある。				細事業評価	B	改善案	実績報告、決算の状況等により、団体の適切な運営について助言していく。			
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価		改善案				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	交付要綱を平成19年度に策定。視覚障害者・聴覚障害者への情報支援ボランティア団体に加え、平成21年度よりあらたに精神障害者の福祉向上を支援するためのボランティア団体への補助金を設けた。	障害者が地域で生活していくためには、共助が必要であり、ボランティアの存在は大きい。	
	細事業の課題・問題点	各団体とも組織を順調に維持し、地域で暮らす障害者の支援ができているが、団体の運営状況をみていく必要がある。	事業全体の課題・問題点
			実績報告、決算の状況等により、団体の適切な運営について助言していく。

所管課評価					
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	障害者が地域で生活していくためには、共助が必要であり、ボランティアの存在は大きい。 補助の目的が達成できるよう団体の運営状況をみていく必要がある。	改善案
					実績報告、決算の状況等により、団体の適切な運営について助言していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B
	所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
2事業(障害者団体育成事業費とボランティア団体育成事業費)を統合し、事務事業名を「障害者・ボランティア団体育成事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491128	事務事業名	身体障害者運転免許取得助成事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	自立支援の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	情報バリアフリー化の推進のため、手話奉仕員、要約筆記奉仕員、音訳・点訳奉仕員養成事業を継続的に実施します。障害者福祉施設等の受注機会の拡大や優先発注に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者	意図(どういう状態にしたい): 身体障害者の就労条件等の改善を図り、社会活動への参加を促進する。 (助成件数 H26見込み:2件)	事業の内容 (手段)	●身体障害者の自動車運転免許の取得に係る経費の一部を助成		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	助成件数 1件						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	200	200	200	-								-
	(予算額)	うち一財	千円	50	50	50	-	-						
事業目標	目標名	助成件数	計算式	年間助成件数	単位	件	事業費	直接事業費	千円	0	100	対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額)	うち一財	千円	0	25	移動支援事業費 他3事業と統合	
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0			正職員人件費	千円	806	370		
	実績値	0.0	0.0	1.0					人工数	人	0.11	0.05	0.06	
	達成度(%)	0.0%	0.0%	50.0%					支出コスト	千円	決) 806	決見) 470		
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	身体障害者運転免許取得助成事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.05		100	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 25年度は、実績がなかったが、本制度の対象条件を引き続き障害者に対して説明していく必要がある					細事業評価	B	改善案	制度の周知を図る。				
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価		改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成18年10月から開始された障害者自立支援法の規定による地域生活支援事業の一つで障害者が自動車免許を取得できるよう費用の助成を行うものである。	前年度までの指摘事項	必要性の高い事業であるが、利用が少なく周知が必要	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	本制度の対象条件を引き続き申請者に対して説明していく必要がある		事業全体の課題・問題点	本制度の対象条件を引き続き申請者に対して説明していく必要がある	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	障害者の社会参加や就労のために必要性の高い事業であるが、利用が少なく周知が必要	改善案	制度の周知を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500302
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(2)就労支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
6事業(移動支援事業費、身体障害者訪問入浴サービス事業費、障害者コミュニティ活動支援事業費、福祉タクシー助成事業費、身体障害者運転免許取得助成事業費及び身体障害者用自動車改造助成事業費)を統合し、事務事業名を「居宅生活支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491129	事務事業名	身体障害者用自動車改造助成事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	自立支援の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	情報バリアフリー化の推進のため、手話奉仕員、要約筆記奉仕員、音訳・点訳奉仕員養成事業を継続的に実施します。障害者福祉施設等の受注機会の拡大や優先注に取組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者		意図(どういう状態にしたい): 身体障害者の社会活動への参加の促進を図る。 (助成件数 H26見込み:8件)		事業の内容 (手段)	●身体障害者が就労等に伴い自動車を取得する場合、その自動車の改造に要する経費を助成

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	助成件数 3件 300千円						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	500	800	800	-							
事業目標	目標名	助成件数	計算式	年間助成件数	単位	件	(予算額) うち一財	千円	125	200	200	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	586	300		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	5.0	5.0	8.0	8.0	8.0	(決算額) うち一財	千円	147	75		移動支援事業費他4事業と統合	
	実績値	6.0	6.0	3.0			正職員人件費	千円	879	370			
	達成度(%)	120.0%	120.0%	37.5%			人工数	人	0.12	0.05	0.07		
							支出コスト	千円	決) 1,465	決見) 670			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①		身体障害者用自動車改造助成事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
								0.05		300	否	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 本制度の対象条件を引き続き申請者に対して説明していく必要がある				細事業評価						
②						B 改善案 制度の周知を図る。							
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
						改善案							



事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成18年10月から開始された障害者自立支援法の規定による地域生活支援事業の一つで障害者が運転できるよう自動車の改造する費用の助成を行うものである。	前年度までの指摘事項	必要性の高い事業	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	本制度の対象条件を引き続き申請者に対して説明していく必要がある		事業全体の課題・問題点	本制度の対象条件を引き続き申請者に対して説明していく必要がある	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	障害者の社会参加や就労のために必要性の高い事業であるの利用を促進したい。	改善案	制度の周知を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	50030
分野	#N/A
基本施策	#N/A
推進施策	#N/A

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
6事業(移動支援事業費、身体障害者訪問入浴サービス事業費、障害者コミュニティ活動支援事業費、福祉タクシー助成事業費、身体障害者運転免許取得助成事業費及び身体障害者用自動車改造助成事業費)を統合し、事務事業名を「居宅生活支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491135	事務事業名	手話通訳者設置事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	自立支援の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	情報バリアフリー化の推進のため、手話奉仕員、要約筆記奉仕員、音訳・点訳奉仕員養成事業を継続的に実施します。障害者福祉施設等の受注機会の拡大や優先発注に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の聴覚障害者	意図(どういう状態にしたい): 公共機関、病院、金融機関等で手話通訳や日常生活上の問題についての相談に応じ、聴覚障害者等が安心して暮らせる環境とする。 (相談件数 H26見込み:2,900件)	事業の内容 (手段)	●公共機関、病院、金融機関等で手話通訳や日常生活上の問題についての相談に応じることができ、手話通訳者を2か所に設置		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	相談件数(2,419件)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	8,580	8,580	6,445	-
							(予算額) うち一財	千円	2,145	2,145	1,611	-	-	
事業目標	目標名	相談件数	計算式	年間相談件数	単位	件	直接事業費	千円	7,920	7,959		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	1,980	1,990		手話奉仕員養成事業費他6事業と統合		
	目標値	2,600.0	2,600.0	2,900.0	2,900.0	2,900.0	正職員人件費	千円	147	148				
	実績値	2,895.0	2,990.0	2,419.0			人工数	人	0.02	0.02	0.01			
	達成度(%)	111.3%	115.0%	83.4%			支出コスト	千円	決) 8,067	決見) 8,107				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	手話通訳者設置事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	0.02		7,959	可	否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 市内の手話通訳者全体が不足していることから、市の設置手話通訳者は派遣依頼に対応するなどし、結果として設置事業の委託料に返還が生じている。				B	改善案	設置手話通訳者が設置業務に専念できる環境が必要であるが、日中に活動できる手話通訳者が不足しており、今後も養成事業等を通じて通訳者の育成を支援していく。					
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	手話通訳制度の浸透、聴覚障害者の高齢化等により設置手話通訳者への相談件数は、年々増加している。	前年度までの指摘事項	2ヶ所の委託先に、互いに連携を取ることに努めるよう勧められたい。	指摘事項に対する改善状況	2ヶ所の役割の分担した。
	細事業の課題・問題点	評価シートに同じ。	事業全体の課題・問題点	手話通訳者の育成が急務であるが、育成には、年数を要する上、通訳者試験も難関である。(平成25年度は県内で合格者0名)。また、通訳者としての資格を得ても、収入などの問題から、兼業の場合が多く、結果日中活動できる通訳者が確保できない環境がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	聴覚障害者にとって不可欠の事業であり、地域生活支援事業の必須事業。設置手話通訳者を1か所に設置(市役所の窓口)に1本化)する方向について検討する。手話通訳者の育成は他事業で対応。	改善案	市役所の窓口)に1本化することが効果的とも考えられる。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	所管課評価のとおり。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500302
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(2)就労支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
8事業(障害者災害時緊急通信事業費、手話通訳者設置事業費、手話通訳者・手話奉仕員派遣事業費、手話奉仕員養成事業費、点訳奉仕員・朗読奉仕員養成事業費、要約筆記奉仕員養成派遣事業費、点字広報・声の広報発行事業費及び手話奉仕員ステップアップ養成事業費)を統合し、事務事業名を「意思疎通支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491136	事務事業名	手話通訳者・手話奉仕員派遣事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	自立支援の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	情報バリアフリー化の推進のため、手話奉仕員、要約筆記奉仕員、音訳・点訳奉仕員養成事業を継続的に実施します。障害者福祉施設等の受注機会の拡大や優先発注に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の聴覚障害者	意図(どういう状態にしたい): 聴覚障害者が社会に参加し、地域で安心して暮らせるように情報手段を持てる。 (派遣回数 H26見込み:410回)	事業の内容 (手段)	●聴覚障害者の社会参加の促進と地域で安心して暮らせる社会実現のために、手話通訳者を派遣		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	派遣回数 552回						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	1,787	2,253	2,697	-
							(予算額) うち一財	千円	448	564	675	-	-	
事業目標	目標名	派遣回数	計算式	年間派遣回数	単位	回	直接事業費	千円	1,967	2,158		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	492	540		手話奉仕員養成事業費他6事業と統合		
	目標値	410.0	410.0	410.0	410.0	410.0	正職員人件費	千円	147	148				
	実績値	414.0	414.0	552.0			人工数	人	0.02	0.02	0.02			
	達成度(%)	101.0%	101.0%	134.6%			支出コスト	千円	決) 2,114	決見) 2,306				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 手話通訳者・手話奉仕員派遣事業費 (経常的事務事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否	
	②													
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 利用者の高齢化により、病院通訳等が増え、1件にかかる派遣時間が増加の傾向にあるため、結果としてコストが上がっている。 支援が必要なケースに出会う場合もある。				B	改善案	支援が必要なケースは、設置手話通訳者や市障害者支援課が対応すべきもの。					
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	制度の浸透、聴覚障害者の高齢化等により、病院通訳等が増加している。	前年度までの指摘事項	手話言語を使う聴覚障害者にとって手話通訳者の派遣は地域で生活していく上の不可欠の事業。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	評価シートに同じ。		事業全体の課題・問題点	派遣依頼は近年増加傾向にあり、通訳者の育成が急務であるが、通訳内容の中でも、医療通訳は、高度の技術が必要であるため、経験の浅い通訳者は派遣できない。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	手話言語を使う聴覚障害者にとって手話通訳者の派遣は地域で生活していく上の不可欠の事業。 支援が必要なケースに出会う場合もある。	改善案	支援が必要なケースは、設置手話通訳者や市障害者支援課が対応すべきもの。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500302
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(2)就労支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
8事業(障害者災害時緊急通信事業費、手話通訳者設置事業費、手話通訳者・手話奉仕員派遣事業費、手話奉仕員養成事業費、点訳奉仕員・朗読奉仕員養成事業費、要約筆記奉仕員養成派遣事業費、点字広報・声の広報発行事業費及び手話奉仕員ステップアップ養成事業費)を統合し、事務事業名を「意思疎通支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491137	事務事業名	手話奉仕員養成事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	自立支援の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	情報バリアフリー化の推進のため、手話奉仕員、要約筆記奉仕員、音訳・点訳奉仕員養成事業を継続的に実施します。障害者福祉施設等の受注機会の拡大や優先注に取組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び周南市に勤務する者	意図(どういう状態にしたい): 手話通訳者を目指す者の増加、聴覚障害者を理解する者の増加。 (修了者数 H26目標:20人)	事業の内容 (手段)	●聴覚障害者の社会参加の促進と地域で安心して暮らせる社会実現のために、手話奉仕員を養成		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	平成26年度養成講座修了者数 19人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	392	448	448	-
事業目標	目標名	修了者数	計算式	修了者数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	98	112	112	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	392	442		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	(決算額)	うち一財	千円	98	111	手話通訳者設置事業費他6事業と統合		
	実績値	17.0	13.0	19.0			正職員人件費	千円	147	222				
	達成度(%)	85.0%	65.0%	95.0%			人工数	人	0.02	0.03	0.01			
							支出コスト	千円	決) 539	決見) 664				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		手話奉仕員養成事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
								0.03		442	可	否		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 今後も将来の手話通訳者を育成するため、奉仕員養成講座受講者の確保が必要。				B	改善案	現在の広報での周知や、ポスターの掲示を多方面に行っていく。					
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成24年度より従来の奉仕員養成講座にステップアップ講座をあらたに追加した。平成25年度より地域生活支援事業必須事業となる。平成26年度より養成講座テキストの全面改訂が行われる。	前年度までの指摘事項	手話通訳者の育成には、先ず手話奉仕員の養成が必要。	指摘事項に対する改善状況	受講の呼びかけを行った。
	細事業の課題・問題点	評価シートと同じ。		事業全体の課題・問題点	厚労省の養成講座カリキュラムは、年間80時間と定められており、受講者の中には仕事や家庭の都合で修了できない者もある。将来の手話通訳者を育成するため、1人でも多くの奉仕員養成講座受講者の確保が必要。その他、平成26年度に養成講座テキストの全面改訂が予定されており、講師(ろう者・通訳者)はあらたに研修受講の必要が出てくるが、県外開催の可能性が高く、旅費負担等の問題が浮上している。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	手話通訳者の育成には、先ず手話奉仕員の養成が必要。平成24年度から開始したステップアップ事業につなぐ最初の事業。平成25年度から地域生活支援事業の必須事業となる。	改善案	受講生を確保するため、広報での周知や、ポスターの掲示を多方面に行っていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500302
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(2)就労支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
8事業(障害者災害時緊急通信事業費、手話通訳者設置事業費、手話通訳者・手話奉仕員派遣事業費、手話奉仕員養成事業費、点訳奉仕員・朗読奉仕員養成事業費、要約筆記奉仕員養成派遣事業費、点字広報・声の広報発行事業費及び手話奉仕員ステップアップ養成事業費)を統合し、事務事業名を「意思疎通支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491138	事務事業名	点訳奉仕員・朗読奉仕員養成事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	自立支援の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	情報バリアフリー化の推進のため、手話奉仕員、要約筆記奉仕員、音訳・点訳奉仕員養成事業を継続的に実施します。障害者福祉施設等の受注機会の拡大や優先注に取組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び周南市に勤務する者	意図(どういう状態にしたい): 視覚障害者の社会参加の促進と地域で安心して暮らせる環境とする。 (修了者数 H26目標:5人)	事業の内容 (手段)	●視覚障害者の社会参加の促進と地域で安心して暮らせる社会実現のために、点訳奉仕員、朗読奉仕員を養成		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	修了者数1人(点訳1人・朗読0人)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	250	250	250	-							
事業目標	目標名	修了者数	計算式	修了者数	単位	人	(予算額) うち一財	千円	63	63	63	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	250	250		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	(決算額) うち一財	千円	63	63		手話通訳者設置 事業費他6事業 と統合	
	実績値	4.0	5.0	1.0			正職員人件費	千円	73	74			
	達成度(%)	80.0%	100.0%	20.0%			人工数	人	0.01	0.01	0.01		
							支出コスト	千円	決) 323	決見) 324			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	① 点訳奉仕員・朗読奉仕員養成事業費 (経常的事務事業)		上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	上記事務事業と同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否
	②												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 養成講座修了後は、ボランティアとしての活動となるため、受講者の確保が難しい。				B	改善案	委託団体では、市の広報のほか、新聞各紙でも募集を行っており、今後も同様な形で受講者を確保していく。				
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案						



事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題						改善案							
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題						改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	少人数であるが、毎年修了者を出し、奉仕員は計画的に養成できている。平成23年度、委託団体点訳やまびこの会(徳山点字図書館を運営)が解散し、あらたにNPO法人「周南視覚障害者図書館」となった。	前年度までの指摘事項	視覚障害者にとって奉仕員は不可欠である。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	評価シートに同じ。		事業全体の課題・問題点	養成講座修了後は、ボランティアとしての活動となるため、受講者の確保が難しい。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	奉仕員を志す者は多くはないが、視覚障害者にとって奉仕員は不可欠であるため事業は継続して実施が必要。	改善案	受講の呼びかけ。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500302
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(2)就労支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
8事業(障害者災害時緊急通信事業費、手話通訳者設置事業費、手話通訳者・手話奉仕員派遣事業費、手話奉仕員養成事業費、点訳奉仕員・朗読奉仕員養成事業費、要約筆記奉仕員養成派遣事業費、点字広報・声の広報発行事業費及び手話奉仕員ステップアップ養成事業費)を統合し、事務事業名を「意思疎通支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491139	事務事業名	要約筆記奉仕員養成派遣事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	自立支援の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	情報バリアフリー化の推進のため、手話奉仕員、要約筆記奉仕員、音訳・点訳奉仕員養成事業を継続的に実施します。障害者福祉施設等の受注機会の拡大や優先注に取組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の聴覚障害者		意図(どういう状態にしたい): 聴覚障害者が社会に参加し、地域で安心して暮らせるように情報手段を持てる。 (派遣回数 H26見込み:20回)		事業の内容 (手段)	●聴覚障害者の社会参加の促進と地域で安心して暮らせる社会実現のために、要約筆記者を派遣

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	派遣回数 23回						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	320	378	350	-								-
事業目標	目標名	派遣回数	計算式	年間派遣回数	単位	回	(予算額) うち一財	千円	80	95	88	-	-	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	320	378		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	(決算額) うち一財	千円	80	95		手話通訳者設置 事業費他6事業 と統合		
	実績値	20.0	17.0	23.0			正職員人件費	千円	147	222				
	達成度(%)	100.0%	85.0%	115.0%			人工数	人	0.02	0.03	0.02			
							支出コスト	千円	決) 467	決見) 600				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	要約筆記奉仕員養成派遣事業費 (経常的事務事業)	要約筆記者等の派遣	聴覚障害者等の意思疎通支援	聴覚障害者の社会参加の促進と地域で安心して暮らせる社会実現	上記事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.03		378	可	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 中途失聴者や難聴者の意思疎通支援には、有効な手段だが、手話に比較して認知度が低い。					B	改善案	市広報や他の啓発事業の中で制度の周知を行っていく。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	障害者総合福祉法第77条に定める地域生活支援事業(派遣:必須 養成:任意)であるが、平成25年度の地域生活支援事業の要綱改正により、派遣資格が要約筆記奉仕員から要約筆記者に変更された。	前年度までの指摘事項	要約筆記奉仕員の派遣ニーズは高く、計画的な養成により、需要に応じたサービスが提供できるよう努められたい。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	評価シートに同じ。		事業全体の課題・問題点	高齢化により難聴者は今後増加し、要約筆記へのニーズは高まると考えられるが、要約筆記者は、収入面で専門は困難であり、日中活動が可能な筆記者の確保が課題となる。また、市での育成においても、今後の国や県の動向を見て、検討が必要となる。	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	養成事業が都道府県の地域生活支援事業になったが、養成について市が何らかの関与をし、要約筆記者を確保していく必要がある。	改善案	他市の対応を参考としながら、市として養成にどう関わるべきかを検討する。
----	---	---	------	---	-----	-------------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり
----	---	-----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500302
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(2)就労支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

8事業(障害者災害時緊急通信事業費、手話通訳者設置事業費、手話通訳者・手話奉仕員派遣事業費、手話奉仕員養成事業費、点訳奉仕員・朗読奉仕員養成事業費、要約筆記奉仕員養成派遣事業費、点字広報・声の広報発行事業費及び手話奉仕員ステップアップ養成事業費)を統合し、事務事業名を「意思疎通支援事業費」とした。
---

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491140	事務事業名	点字広報・声の広報発行事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	自立支援の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	情報バリアフリー化の推進のため、手話奉仕員、要約筆記奉仕員、音訳・点訳奉仕員養成事業を継続的に実施します。障害者福祉施設等の受注機会の拡大や優先注注に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の視覚障害者	意図(どういう状態にしたい): 視覚障害者が市広報から情報が入手できる。 (点字広報発行 H26見込み:50部/回・月1回) (声の広報発行 H26見込み:40部/回・月2回)	事業の内容 (手段)	●視覚障害者の社会参加の促進と地域で安心して暮らせる社会実現のために、点字、声の広報を発行		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	発行部数(点字 45部 / 声 33部)													
事業目標	目標名	発行部数	計算式	発行部数	単位	部	事業費	直接事業費	千円	450	450	450	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(予算額) うち一財	千円	113	113	113	-	-
	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0		直接事業費	千円	450	450		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	87.0	80.0	77.0				(決算額) うち一財	千円	113	113		手話通訳者設置事業費他6事業と統合	
	達成度(%)	96.7%	88.9%	85.6%				正職員人件費	千円	73	74			
								人工数	人	0.01	0.01	0.01		
						支出コスト	千円	決) 523	決見) 524					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	点字広報・声の広報発行事業費 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	直接事業費	委託	臨時嘱託				
							0.01	450	可	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 声の広報のもととなる吹き込み作業は、ボランティアグループへの委託で行っているため、今後このグループの存続に左右される可能性がある。後継者が少ない。					B	改善案	今後とも委託団体(NPO法人周南視覚障害者図書館及び音訳グループともしび)及び市広報担当課と連携を図りながら事業を継続して行く。後継者の確保について委託団体と協議する。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	声の広報については作業のデジタル化が課題となり、作成団体は、自主的に研修を受けるなどして対応している。			
	評価シートに同じ。			点字版作成及び広報発行作業は、NPO法人への委託としているが、声の広報のもととなる吹き込み作業は、ボランティアグループへの委託で行っているため、今後このグループの存続に左右される可能性がある。

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由 視覚障害者にとって、市広報からの情報入手手段として欠かせない事業。 後継者を確保していく必要がある。	改善案 後継者の確保について委託団体と協議する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500302
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(2)就労支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
8事業(障害者災害時緊急通信事業費、手話通訳者設置事業費、手話通訳者・手話奉仕員派遣事業費、手話奉仕員養成事業費、点訳奉仕員・朗読奉仕員養成事業費、要約筆記奉仕員養成派遣事業費、点字広報・声の広報発行事業費及び手話奉仕員ステップアップ養成事業費)を統合し、事務事業名を「意思疎通支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491148	事務事業名	手話奉仕員ステップアップ養成事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	自立支援の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	情報バリアフリー化の推進のため、手話奉仕員、要約筆記奉仕員、音訳・点訳奉仕員養成事業を継続的に実施します。障害者福祉施設等の受注機会の拡大や優先注に取組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民及び市内に勤務する者で手話奉仕員養成講座を修了した者	意図(どういう状態にしたい): 手話通訳者を目指すものを養成し、手話通訳者を増やす。 (修了者数 H26目標:10人×3ステップ)	事業の内容 (手段)		●奉仕員講座完了者を対象に、ステップアップ講座とステップアップ2講座を開設	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】	項目		単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)					
		ステップアップ養成講座(1)修了者 9人 ステップアップ養成講座(2)修了者 9人 ステップアップ養成講座(3)修了者 9人	直接事業費	千円	157	293	293	-	-					
	(予算額) うち一財	千円	157	293	293	-	-							
事業目標	目標名	修了者数	計算式	修了者数	単位	人	事業費	直接事業費	千円	157	279		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	157	279		手話通訳者設置 事業費他6事業 と統合	
	目標値	20.0	30.0	30.0	30.0	30.0		正職員人件費	千円	73	148			
	実績値	15.0	23.0	27.0				人工数	人	0.01	0.02	0.01		
	達成度(%)	75.0%	76.7%	90.0%				支出コスト	千円	決) 230	決見) 427			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否				
	①	手話奉仕員ステップアップ養成事業費 (ソフト事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
							0.02			279	可	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 修了者は増加してはいるが、修了できなかった者もいる。					B	改善案	県の手話通訳者養成講座受講レベルに達するまで継続した受講が必要であるが、家庭の事情等により、修了できない者もいる。今後参加者をより確保する等して修了者の増加を目指す。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成24年度から手話奉仕員ステップアップ養成講座を開始。平成25年度にステップアップ2を開講。平成26年度には、3を開講した。平成27年度以降は、レベルを3段階に分けた講座をそれぞれ開催して行く予定。	前年度までの指摘事項	H25・26年度と受講年度を拡充(基本は3ヶ年)していく事業である。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	細事業の課題に同じ		事業全体の課題・問題点	ステップ1から3の講座を全て修了する者が継続して確保できるよう参加者の増を図る必要がある。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	手話通訳者の養成のため平成24年度に開始した事業で、H25・26年度と受講年度を拡充(基本は3ヶ年)していく事業である。	改善案	県の手話通訳者養成講座受講レベルに達するまで継続したサポートのあり方について検討する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500302
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(2)就労支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
8事業(障害者災害時緊急通信事業費、手話通訳者設置事業費、手話通訳者・手話奉仕員派遣事業費、手話奉仕員養成事業費、点訳奉仕員・朗読奉仕員養成事業費、要約筆記奉仕員養成派遣事業費、点字広報・声の広報発行事業費及び手話奉仕員ステップアップ養成事業費)を統合し、事務事業名を「意思疎通支援事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491147	事務事業名	通所就労施設利用者就労支援給付金支給事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	自立支援の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	情報バリアフリー化の推進のため、手話奉仕員、要約筆記奉仕員、音訳・点訳奉仕員養成事業を継続的に実施します。障害者福祉施設等の受注機会の拡大や優先発注に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 通所授産施設等を利用している周南市民	意図(どういう状態にしたい): 訓練費等の負担を軽減し、就労意欲の向上と社会復帰の促進が図られる。 (給付件数 H26見込み:211人*12月=2,532件)	事業の内容 (手段)		●通所授産施設等の利用者に就労支援給付金を支給	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	30の事業所で延べ2,658件支給。								直接事業費	千円	11,625	11,774	12,594	-
事業目標	目標名	給付件数	計算式	年間給付件数	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	11,625	11,774	7,023	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	11,438	11,774		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	2,200.0	2,200.0	2,532.0	2,532.0	2,532.0	(決算額)	うち一財	千円	11,438	11,774	職場実習等支援給付金支給事業費と統合		
	実績値	2,262.0	2,507.0	2,658.0			正職員人件費	千円	733	1,479				
	達成度(%)	102.8%	114.0%	105.0%			人工数	人	0.10	0.20	0.25			
							支出コスト	千円	決) 12,171	決見) 13,253				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		通所就労施設利用者就労支援給付金支給事業費 (ソフト事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
								0.20		11,774	否	可		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成24年度から対象施設を拡充し、受給者が増加。また、対象施設の利用者が増加しており、給付件数、金額とも増加。				B	改善案	平成24年度に制度の見直しをしたばかりであるので、当面は現制度で継続していくが、単市事業であるので、他の単市事業の状況を見ながら、給付の水準を考えていく。					
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						



事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	当面は現状で継続する。		指摘事項に対する改善状況
		平成21年7月より、通所就労施設等の利用者の負担を軽減するため、さらなる自立の支援、就労意欲の向上に資するため、新たに通所に要する経費（交通費）を助成することとした。平成24年4月より、対象となる通所施設に、就労系の地域活動支援センターを加えた。			
	細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点	左に同じ	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	改善案
			平成24年度に制度の見直しをしたばかりであるので、当面は現制度で継続していくが、単市事業であるので、他の単市事業の状況を見ながら、給付の水準を考えていく。	単市事業全体の動向を見ていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり
----	---	-----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500302
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(2)就労支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
2事業(通所就労施設利用者就労支援給付金支給事業費と職場実習等支援給付金支給事業費)を統合し、事務事業名を「就労支援給付金支給事業費」とした。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	491166	事務事業名	職場実習等支援給付金支給事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	自立支援の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	情報バリアフリー化の推進のため、手話奉仕員、要約筆記奉仕員、音訳・点訳奉仕員養成事業を継続的に実施します。障害者福祉施設等の受注機会の拡大や優先注に取組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者	意図(どういう状態にしたい): 就労を希望する障害者の就労にチャレンジする機会及び就労者が増加する。 (給付件数 H26見込み:40人)	事業の内容 (手段)	●交通費がない、通所を休むと工賃が得られない等の理由により、就労を希望する障害者が、職場実習や職業評価等の支援を断念し、就労につながらないことから、就労に際して行う経済的な支援		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	20人(述べ41件)に支給。(内9人就職)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	166	205	562	-
事業目標	目標名	給付件数	計算式	年間給付件数	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	166	205	141	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	233	288		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	(決算額)	うち一財	千円	233	288	通所就労施設利用者就労支援給付金支給事業費と統合		
	実績値	39.0	38.0	41.0			正職員人件費	千円	733	740				
	達成度(%)	97.5%	95.0%	102.5%			人工数	人	0.10	0.10	0.13			
							支出コスト	千円	決) 966	決見) 1,028				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		職場実習等支援給付金支給事業費 (ソフト事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
								0.10		288	否	可		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 交通費等(バス料金・電車料金・距離)の確認をするのに時間を要す。 事業費は大きくはないが、一般就労へのきっかけとなっている事業。ただし、まだ事業の周知が必要。				B	改善案	ハローワーク等でも制度の周知をしていく。					
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	地域自立支援協議会の就労部会で、職場実習を援助することが必要との発案があり、平成22年度より制度の設計を行ってきた。平成23年10月の地域自立支援協議会定例協議会で就労部会の制度案が承認され、市に対して施策の提案があった。平成24年4月1日から施行され、3年間で60人(延べ118人)に支給し、徐々に周知されてきている。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	平成24年4月から始まり、3年間で60人に支給し33人が就職した。しかし、対象者はまだいると思われる。 ハローワークや県の労働政策課からの問い合わせもあり、まだまだ周知されていないことがわかったので、もっと広めていけるようにしたい。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	平成24年度からの新規事業である。当面はそのまま実施。事業の周知が不足している。	改善案	ハローワーク等でも制度の周知をしていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500302
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(2)就労支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
2事業(通所就労施設利用者就労支援給付金支給事業費と職場実習等支援給付金支給事業費)を統合し、事務事業名を「就労支援給付金支給事業費」とした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政			
事務事業コード	事務事業名	精神通院申請受付	事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の精神疾患を有する者	意図(どういう状態にしたい): 精神疾患者の通院	事業の内容 (手段)	●精神疾患により通院している者の支給認定必要書類を県に提出		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	精神疾患により通院している者の支給認定に係る必要書類について、平成26年度は2088件の受付を行い、県に進達した。								直接事業費	千円	-	-	-	-
事業目標	目標名	受付件数	計算式	年間受付件数	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	-	-	-	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円				対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1,800.0	1,800.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	(決算額)	うち一財	千円					
	実績値	1,803	2,079	2,088.0			正職員人件費	千円	5,933	4,289				
	達成度(%)	100.2%	115.5%	104.4%			人工数	人	0.81	0.58	0.72			
							支出コスト	千円	決) 5,933	決見) 4,289				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	精神通院申請受付 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.58	0.15		否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 新規申請に加え、一年毎に更新申請が必要なため、必要書類を受け付け、支給認定に係る所得確認等の内部審査を行う総件数は年々増加している。					B	改善案	定型的な処理を臨時職員に任せる。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						
	④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	精神疾患により医療機関にかかっている患者数は、近年大幅に増加している。		
	細事業の課題・問題点	周南市での精神通院医療の支給認定者も増加しており、必要書類を受け付け、支給認定に係る所得確認等の内部審査を行う総件数は年々増加している。	事業全体の課題・問題点
			精神疾患により医療機関にかかっている患者数は増加しており、疾患の特性上、長期にわたる継続治療が必要である。今後も支給認定に係る受付件数の増加が考えられる。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	障害者総合支援法に基づく事務。常に適切に県に進達する必要がある。処理の効率化を図りたい。	改善案	定型的な処理を臨時職員に任せる。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B
	所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政			
事務事業コード	事務事業名	身体障害者手帳交付	事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の身体障害者	意図(どういう状態にしたい): 身体障害者手帳対象者の手帳取得等	事業の内容 (手段)	●身体障害者手帳交付に係る事務		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	進達件数		新規		412件	返還(再交付による返還も含む)		575件	事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	再交付		居住地変更		219件	再交付(き損・亡失)		62件		直接事業費	千円	-	-	-		
事業目標	目標名	進達件数	計算式	年間進達件数		単位	件	事業費	(予算額)	うち一財	千円	-	-	-		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費		千円						対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	1,450.0	1,450.0	1,450.0	1,450.0	1,450.0	(決算額)		うち一財	千円						
	実績値	1,415.0	1,473.0	1,426.0			正職員人件費		千円	6,593	7,025					
	達成度(%)	97.6%	101.6%	98.3%			人工数		人	0.90	0.95	0.46				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類										正職員		臨時等		直接事業費	
	①	身体障害者手帳交付 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ		上記事務事業に同じ		0.95				否 可	
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト ■ その他		申請件数が多く、申請書等のチェックミスが起こる可能性がある。		B		改善案		臨時職員等の活用。					
	②															
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他														

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	H23年から肝臓機能障害が追加されたりと、受付事務が複雑化してきている。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	申請件数が多く、申請書等のチェックミスが起こる可能性がある。		事業全体の課題・問題点	ミスを起こさないようにチェック体制の強化を図っていきたい。

所管課評価					
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	身体障害者手帳交付に係る事務であり、継続して実施が必要。 申請件数も多く、申請書等のチェックミスが起こる可能性がある。	改善案 臨時職員等の活用。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	事務事業名	療育手帳交付	事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別
				会計名	

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の知的障害者	意図(どういう状態にしたい): 療育手帳対象者の手帳取得等	事業の内容 (手段)	●療育手帳交付に係る事務		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	受付件数 272件 [内訳:新規47件、再判定79件、再交付23件(程度の変更含む)、変更87件、返還36件]								直接事業費	千円	-	-	-	-
事業目標	目標名	受付件数	計算式	受付件数	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	-	-	-	-	-
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額)	うち一財	千円					
	目標値	230.0	230.0	230.0	230.0	230.0	正職員人件費	千円	1,465	1,997				
	実績値	222.0	271.0	272.0			人工数	人	0.20	0.27	0.11			
	達成度(%)	96.5%	117.8%	118.3%			支出コスト	千円	決) 1,465	決見) 1,997				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 療育手帳交付 (経常的事務事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
	②													
	細事業の課題		■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他 18歳未満は児童相談所が判定を行い、18歳以上は山口県知的障害者更生相談所の判定により交付事務を行う。手続きに変更の余地なし。				A	改善案						
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他					改善案						



事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	障害者の公共交通機関利用時の割引のため、また付随するサービスのために申請をするケースが増えている。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	18歳未満は児童相談所が判定を行い、18歳以上は県知的障害者更生相談所の判定により交付事務を行う。手続きに変更の余地なし。		事業全体の課題・問題点	18歳未満は児童相談所が判定を行い、18歳以上は県知的障害者更生相談所の判定により交付事務を行う。手続きに変更の余地なし。

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	療育手帳の進達事務であり途絶えることのできない事務である	改善案
	A				

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	所管課評価のとおり
	A	

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	事務事業名	精神障害者保健福祉手帳交付	事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別
			会計名		

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
		【障害者福祉の充実】	36.90%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の精神障害者	意図(どういう状態にしたい): 精神障害者保健福祉手帳対象者の手帳取得等	事業の内容 (手段)	精神障害者保健福祉手帳交付に係る事務		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	H27年4月現在 精神障害者保健福祉手帳交付者数 747名 (H26年4月交付者数708名) (交付者の等級内訳 : 1級168名、2級396名、3級183名) H26年度申請受付件数 455件(新規:70件 更新:332件 再交付、住所・氏名変更:53件)								直接事業費	千円	-	-		
事業目標	目標名	申請件数	計算式	年間申請件数	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	-	-			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額)	うち一財	千円					
	目標値	450.0	450.0	450.0	450.0	450.0			千円					
	実績値	434.0	457.0	455.0					千円	2,637	3,328			
	達成度(%)	96.4%	101.6%	101.1%					人工数	人	0.36	0.45	0.53	
								支出コスト	千円	決) 2,637	決見) 3,328			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	精神障害者保健福祉手帳交付 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 精神障害者保健福祉手帳取得対象者は年々増えており、それに係る申請受付事務も増加している。 定型的な事務については、効率化に取り組む。						細事業評価							
	②						B	改善案	臨時職員の活用など。					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
							改善案							

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	周南市の精神障害者保健福祉手帳交付者は年々増加傾向にあり、今後も増加していく事が予想される。		
	細事業の課題・問題点	精神障害者保健福祉手帳取得対象者は年々増えており、それに係る申請受付事務も増加している。	事業全体の課題・問題点 精神障害者保健福祉手帳取得対象者が適切に手帳を取得し、手帳の取得が精神障害者の自立した生活と社会参加を促進する事を旨とする。

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由 県への進達を通年、適切に行っていく。 定型的な事務については、効率化に取り組む。	改善案 臨時職員の活用など。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	事務事業名	有料道路割引、パーキングパーミット受付	事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別
			会計名		

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
		【障害者福祉の充実】	36.90%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者	意図(どういう状態にしたい): 外出支援	事業の内容 (手段)	●有料道路割引、パーキングパーミットの受付及び進達に係る事務		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	窓口受付件数:1,854件 [有料道路割引:1314件(受付件数)、パーキングパーミット受付:540件(受付件数)]						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	-				
事業目標	目標名	受付件数	計算式	年間受付件数	単位	県	(予算額)	うち一財	千円	-				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円				対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1,300.0	1,300.0	1,600.0	1,600.0	1,600.0	(決算額)	うち一財	千円					
	実績値	1,318.0	1,651.0	1,854.0			正職員人件費	千円	806	592				
	達成度(%)	101.4%	127.0%	115.9%			人工数	人	0.11	0.08	0.27			
						支出コスト	千円	決) 806	決見) 592					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		有料道路割引、パーキングパーミット受付 (ソフト事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
								0.08			可	可		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
			この業務に限れば臨時職員での対応も可能と思うが、通常、この用件だけで来庁されることは少なく、職員での対応となる。				B	改善案	事務の効率化を図る。					
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	<p>【有料道路割引】 以前より、市民サービスの一環として、窓口にて申請受付事務を行っている。</p> <p>【パーキングパーミット受付】 H22.8.1付で県(県社協)により開始された事業であり、周南市は協力という形で窓口を設置し、申請受付・交付事務を行っている。</p>	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	この業務に限れば臨時職員での対応も可能と思うが、通常、この用件だけで来庁されることは少なく、職員での対応となる。		事業全体の課題・問題点	細事業に同じ。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	市民サービスとして必要なため、継続して市の窓口で実施	改善案	事務の効率化を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	事務事業名	NHK受信料減免関連	事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別
			会計名		

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
		【障害者福祉の充実】	36.90%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の障害者	意図(どういう状態にしたい):	事業の内容 (手段)	●NHK受信料減免に係る事務		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	対象者:1135人 [内訳:577人(全額免除)、558人(半額免除)]								直接事業費	千円	-	0	0		
事業目標	目標名	対象者	計算式	対象者	単位	人		(予算額) うち一財	千円	-	0	0			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円					対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値			600.0	600.0	600.0		(決算額) うち一財	千円						
	実績値	981.0	593.0	1,135.0				正職員人件費	千円	659	592				
	達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	189.2%				人工数	人	0.09	0.08	0.09			
								支出コスト	千円	決) 659	決見) 592				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否					
	①	NHK受信料減免関連 (ソフト事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他						細事業評価								
	年に1回程、NHKより免除事由確認調査の協力依頼があり、免除事由継続の有無の回答を行っているが職員の負担が大きい。						B	改善案	臨時・嘱託職員の活用。						
	②														
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価									
							改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						
	④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	以前より、減免申請希望の方について、手続きのご案内をしており、免除事由証明として、手帳所持証明書を発行している。年に1回程、NHKより免除事由確認調査の協力依頼があり、免除事由継続の有無の回答を行っている。	前年度までの指摘事項	引き続き必要と考える	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	年に1回程、NHKより免除事由確認調査の協力依頼があり、免除事由継続の有無の回答を行っているが職員の負担が大きい。	事業全体の課題・問題点	細事業に同じ。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	このサービスを利用している市民も多く、協力は引き続き必要と考える	改善案	臨時・嘱託職員の活用。
----	---	---	------	----------------------------------	-----	-------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり
----	---	-----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	

備考

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	事務事業名	議会対応	事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別
				会計名	

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【障害者福祉の充実】	36.90%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市	意図(どういう状態にしたい): 障害者福祉の推進	事業の内容 (手段)	●一般質問対応、議案対応に係る事務		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	・一般質問－6月1件、9月1件、12月1件 ・予算案－9月補正、12月補正、3月補正、H27当初 ・決算認定－10月								直接事業費	千円				
事業目標	目標名	-	計算式	-	単位	-	(予算額)	うち一財	千円					
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円						
	目標値						(決算額)	うち一財	千円					
	実績値						正職員人件費	千円		1,392	1,035			
	達成度(%)						人工数	人		0.19	0.14	0.32		
						支出コスト	千円		決) 1,392	決見) 1,035				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 議会対応 (経常的事務事業)		上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.14			否	否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 一般質問の聞き取りや委員会開催時の待機時間が長い。				A	改善案						
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案							



事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							改善案							
④														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	市役所が果たすべき役割、市役所に期待される役割は大きくなってきている。また、市の施策について、時機を逃さず分かりやすく説明することも求められている。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	前の細事業の課題及び対応に同じ。		事業全体の課題・問題点	左に同じ	

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	当面は現行のやり方で対応していく。	改善案	
----	---	---	------	-------------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	課レベルでの対応は無理。市としての議会への働きかけが必要。
----	---	-------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部障害者支援課	評価者 (課長)	山本恭弘	評価責任者 (部長)	大西輝政
事務事業コード	事務事業名	予算編成	事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別
			会計名		

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ13 障害者福祉の充実	基本方向	障害者が地域で安心して暮らすためのシステムづくり、自立支援と社会参加のための情報バリアフリー化や、能力や適性に応じた就労支援を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域生活活動の充実			【障害者福祉の充実】	25.20%
	推進施策の展開	地域の理解を得ながら、障害者が地域で安心して暮らすための支援を行います。			25年度市民評価の満足度	
		【障害者福祉の充実】	36.90%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市	意図(どういう状態にしたい): 障害者福祉の推進	事業の内容 (手段)	●当初予算編成、補正予算見積りに係る事務		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【平成26年度予算 目:障害者福祉費】 ・当初歳出予算 66事業、3,345,026千円 ・補正歳出予算 4事業、54,212千円								直接事業費	千円				
事業目標	目標名	計算式	単位				(予算額) うち一財	千円						
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円				対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	-	-				(決算額) うち一財	千円						
	実績値	-					正職員人件費	千円	1,685	1,479				
	達成度(%)						人工数	人	0.23	0.20	0.32			
						支出コスト	千円	決) 1,685	決見) 1,479					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	予算編成 (経常的事務事業)	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	上記事務事業に同じ	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 平成26年度の予算編成事務(平成26年度当初、補正予算)については、ほぼ見積り通りとなったが、見直しを検討すべき事業がある。						細事業評価							
							B	改善案	28年度予算編成に向けて検討、協議。					
	②													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題											改善案	
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題											改善案	

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	財政状況は悪化、今後、普通交付税の一本算定によりこれまでに例のない厳しさが確実となる。対応策の一つとして周南市マネジメントシステムを導入される。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	前の細事業の課題と同じ。		事業全体の課題・問題点	左に同じ	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	事務事業見直しへの取り組みが弱い。	改善案	28年度予算編成に向けて検討、協議。
----	---	---	------	-------------------	-----	--------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	中期的な事務事業見直し計画の策定が必要。
----	---	----------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500301
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	3障害者福祉の充実
推進施策	(1)地域生活支援の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

--